

農林大学校

# 耕土耕心だより

今、農林大学校では

## 1 卒業式が終わり、新たな道に旅立つ

3 月 17 日(水)に卒業式が終わり、95 人の卒業生は自ら決めた新たな道に進んで行きました。平成 21 年度の進路状況は、農林業就業が 25%、農林業関連団体、関連企業への就職が 47%となっています。養成部から研究部への進学は 15 人で、より高度な技術と優れた経営管理能力を備えた農林業後継者を育成する専門技術専攻への進学が 2 名となっています。

## 2 新たな学生の入学を待つ

平成 22 年度、本校に入学する学生は 100 名（養成部 83 名、研究部 15 名、研修部 2 名）です。前年度の入学生 83 名に比べると、大幅に増加し、農業に対する若者の関心の高さがうかがわれます。入学式は、4 月 8 日（木）に行なわれ、本校での新たな学生生活が始まります。

農林大学校の取り組み

## 1 農林大学校「卒業式」が挙行されました。

農林大学校の卒業式が 3 月 17 日(水)に行われました。

本年度の卒業生は、養成部 69 名(男 47・女 22)、研究部 26 名(男 20・女 6)の計 95 名です。

卒業生の多くが、就農、農林業関連の職に就き、これからの本県農林業の将来を背負い頑張っていきます。卒業生はその決意を胸に、岩瀬洋一郎副知事をはじめ多くの来賓、保護者の見守る中、厳粛な式に臨みました。

卒業生は担任から一人一人名前を呼ばれ、福井昌弘校長が代表者に卒業証書を手渡しました。式辞で校長は、「校訓である“耕土耕心”の下、大学校で身につけた精神を忘れずに自分の抱く夢に向かって進んでいってください」と激励の言葉を送りました。また、卒業後新規就農する高嶋理代さん(研究部専門技術専攻)が卒業生を代表して、「農林大学校で培った能力を手にそれぞれの歩む道において力を発揮し、さらに経験を積み重ね社会に貢献していきたい」と答辞で決意を述べました。



卒業証書授与



卒業生答辞

#### 4月の主な行事予定

日	行 事 (内 容)	担当部・課
6日(火)～ 8日(木)	<b>平成 22 年度 2 年生始業式</b> 各部各学科の 2 年生の授業がそれぞれ開始される。 6日 養成部園芸学科、茶業学科、果樹学科、畜産学科 7日 養成部林業学科 8日 研究部	教務課
8日(木)	<b>入学式</b> 平成 22 年度入学生 100 名 (養成部 83 名、研究部 15 名、研修部 2 名)	学生課
8日(木) 9日(金)	<b>新入生ガイダンス</b> 新入生に大学校生活の心構え、学習・生活上の諸注意等に関するオリエンテーションを行う。また、規律ある集団生活及び自主的な寮生活が実践できるように指導助言する。	学生課
12日(月)	<b>養成部 1 年生授業開始</b>	教務課
13日(火)～ 6月8日(火)	<b>茶業学科 2 年生前期組(2 名)先進経営研修</b> 茶業学科 2 年生 5 名中 2 名が、一番茶期の 2 か月間宿泊を基本として、県内の先進経営体で実践技術、経営について学ぶ。	教務課
15日(木)	<b>第 1 回防災訓練</b> 男子学生寮での出火を想定した避難訓練、放水訓練等を実施し、併せて学生の自衛消防隊の班別編成を行う。	学生課
15日(木)～ 23日(金)	<b>農業機械基本研修</b> 林業、畜産学科の 2 年生が農業機械の操作技術と知識を習得するための研修を行う。	研修部
19日(月)～ 6月18日(金)	<b>研究部専門技術専攻 1 年生流通研修</b> 研究部専門技術専攻の 1 年生 2 名が 2 か月間、市場や小売店等で流通研修を行う。	研究部
21日(水)	<b>内科検診</b>	学生課
28日(水)	<b>胸部 X 線撮影 (養成部 1 年)</b>	学生課